

October
8 MONDAY

2011年10月
研究の舞台は
日本へ!!

第6回 日本語海外研究者招聘事業

The 6th Hakuho Japanese Language Research Fellowship Program

日本語研究、日本語教育研究を日本で！
世界中の日本語研究者、日本語教育研究者をお招きします。

2010年9月 募集開始

研究期間：2011年10月上旬～2012年9月下旬（長期：12ヶ月／短期：6ヶ月）

受入機関：お茶の水女子大学・国立国語研究所・東京外国語大学・早稲田大学

※50音順

財団法人 博報児童教育振興会

THE HAKUHO FOUNDATION

www.hakuhodo.co.jp/foundation/

■ 詳しくは、右記に設置してあるリーフレットをご覧ください。

東京外国語大学 アゴラ・グローバル2階
国際日本研究センターへおたずねください

招聘研究者について

研究テーマ	「日本語とのコーパス対照研究」「コミュニケーションのあり方に関する比較研究」「日本語教材開発のための基礎研究」「日本語の発話情報とメタ情報構造」「日本語の省略形と文化研究」「バイリンガル児童の育成」「非漢字文化圏での漢字教育法開発」「会話教材の作成」「言語の比較研究」「評価基準データベースとその汎用システムの構築」「学習言語の分析」「丁寧表現の比較・指導法研究」「音韻処理」「アクセントとイントネーション分析」他
所属機関(国)	リュブリャナ大学(スロヴェニア)、中央大学校(韓国)、北京外国語大学(中国)、メルボルン大学(オーストラリア)、シャルル・ド・ゴール大学(フランス)、イースタン・ミシガン大学(アメリカ)、国立台中技術学院(台湾)、タシケント国立東洋学大学(ウズベキスタン)、タマサート大学(タイ)、国立バジャジャラン大学(インドネシア)、アンカラ大学(トルコ)、カイロ大学(エジプト)、日本人材開発センター(キルギス) 他

※詳細は、下記財団ホームページの招聘者一覧でご覧いただけます

招聘研究者の声

「日本での研究を活かし、母国の日本語学習者に適した教材を開発。」

曹大峰 北京外国語大学教授・北京日本学研究中心副主任 (第1回招聘研究者)

この事業のおかげで、国立国語研究所に滞在し日本の研究者と専門家だけではなく、他の招聘者とも学术交流ができて、とても有意義な1年間でした。滞在研究の課題である「教科書コーパスを活用した新しい日本語教材開発のための基礎研究」も予定通りに中国語話者向けの日本語教育文法の再構築へ発展し、現在その文法シラバスを中国教育部企画の新しい大学専攻用日本語教材に導入しています。とても有難いご支援だったと感謝しております。

「帰国後、日本語教育に関するシンポジウム等で研究成果を発表。」

ヴォロビヨワ・ガリーナ キルギス共和国 キルギス日本語教師会会員 (第2回招聘研究者)

2007年10月から半年間、この助成によって日本での「非漢字系日本語学習者を対象とした漢字教育法の開発」研究が実現しました。その後の研究にも役立ち、2008～2009年にかけて日本語教育学世界大会、欧州日本語教育シンポジウム等の国際シンポジウムにも参加し、研究成果を発表しました。博報児童教育振興会と国立国語研究所に心から感謝いたします。尚、この事業に参加した世界の多くの研究者による研究成果を日本語教育大会として開催したら、とても有意義になると思います。

財団法人 博報児童教育振興会 THE HAKUHO FOUNDATION

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-11-7 ATT 新館8階
8th Fl., ATT New Tower, 2-11-7 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052
Tel: +81-(0)3-5570-5008 Fax: +81-(0)3-5570-5016
URL: <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/>

2011年10月、研究の舞台は日本へ。

第6回 日本語海外研究者 招聘事業のご案内

The 6th Hakuho Japanese Language
Research Fellowship Program

2010年9月 募集開始

財団法人 博報児童教育振興会
THE HAKUHO FOUNDATION

日本語研究、日本語教育研究を日本で。
あなたがお持ちになるのは、
知識と意欲だけです。

財団法人 博報児童教育振興会について

設立より40年の歴史を持つ団体です。

財団法人 博報児童教育振興会は、次代を担う児童の豊かな人間性の育成を支援することを目的として、文部省(当時)認可の財団法人として1970年に設立されました。

当財団では、児童教育の要は「ことばの教育」にあると考え、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」、「児童教育実践についての研究助成事業」など、「ことば」「文化」「教育」の領域を中心に児童教育支援につながる活動を行っています。

この事業の目的について

日本語研究、日本語教育研究の深化と実践化、研究基盤の充実を目指します。

財団法人 博報児童教育振興会が支援する「日本語海外研究者招聘事業」は、海外の上級研究者を招聘し、日本における滞在型研究を通して、国内外の日本語研究・日本語教育研究のさらなる深化と実践化を促進し、研究の基盤を充実させることを目的としています。

助成の内容

渡航費から滞在・研究費まで、日本での研究に必要な経費を助成します。

- ① 渡航費 航空券で支給
- ② 滞在・研究費 月額30万円
- ③ 住居補助費 月額15万円(上限)
- ④ 渡日一時金 30万円
- ⑤ 海外旅行傷害保険

研究期間

2011年10月上旬～2012年9月下旬です。
長期(12ヶ月)と短期(6ヶ月)を選択できます。

※特別な事情がある場合に限り、期間内で調整に応じます

受入研究機関

- 学校法人 早稲田大学
- 国立大学法人 お茶の水女子大学
- 国立大学法人 東京外国語大学
- 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構
国立国語研究所 (50音順)

※各機関と調整の上で決定します

対象となる研究者

次の条件のいずれにも該当する研究者を対象とします。

- 日本語研究、日本語教育研究を行っている研究者
- 優れた研究業績を有する大学の教授もしくは准教授およびこれらに相当する研究職歴を有する方
- 原則として外国籍を有する方
(ただし、日本国籍を有する方でも外国におおむね10年以上在住し、当該国の学界で活躍している方を含む)

成果報告

研究者には、成果を報告していただきます。

- 期間中と終了前の成果説明
- 終了後1ヶ月以内に成果報告書提出
- 終了後(少なくとも3年間)年に1回、進捗状況報告

応募時期

応募受付期間は、2010年9月1日～2010年10月31日となります。

応募手続や審査方法、研究内容等、詳細については、9月1日以降に下記のホームページをご覧ください。

www.hakuhodo.co.jp/foundation/

※対象となる研究者へこの事業をご紹介ください

Please mention this program to eligible researchers.